

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

②施設・事業所情報

名称：鵜沼げんきっず保育園	種別：保育園	
代表者氏名：中 信一郎	定員（利用人数）： 90名	
所在地：〒251-0028 藤沢市本鵜沼4-9-3		
TEL：0466-35-6655	ホームページ： https://fuku-mirai.or.jp/info_school3	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成28年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人みらい		
職員数	常勤職員： 18名	非常勤職員 15名
専門職員	園長 1名	保育士 24名
	看護師 1名	栄養士 1名
	調理員 3名	
施設・設備の概要	保育室 7室	事務室 厨房 ホール 職員休憩室

③理念・基本方針

【法人理念】

夢見る力と大きな感動を

【園の保育目標】

子どもの安全を第一に「健康で明るい子ども」「自分で考えて行動できる子ども」「自分の思いを表現できる子ども」を育成します。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・乳児は月に1回の外部講師による「リトミック教室」を開催して年齢ごとに、表現を楽しんでいます。また、地域の親子にも参加可能な時間を設定しており、毎回近隣から参加があり、多い時には15組の参加があります。終了後には園内見学や相談などにも臨機応変に対応しています。
- ・戸外での遊びを重視しています。毎日、園庭や自然豊かな近隣の大公園に積極的に出かけ、年齢に応じて自由に探索行動を行い、好きな遊びを十分遊びこめるように時間配分を考え、子どもたちの五感を養っています。
- ・小学校との連携に重きを置いています。今年度は3ヶ所の小学校に見学に行かせてもらい行事にも参加させてもらっています。指導要録は郵送ではなく小学校に持参して、情報交換を密にしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 元年7月1日（契約日） ～ 令和 2年 3月 5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

⑥総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>◆子どもたちは素直に自分を表現し、表情豊かに仲良く園生活を楽しんでいます。</p> <p>園目標に「自分の思いを表現できる子ども」と挙げているとおり、どの年齢の子どもたちも自分の思いを素直に表現しています。保育士はまだ自分の思いを上手に表現できない乳児の欲求や思いに関わりの中で汲み取り、否定することなく、受けとめ、共感しています。保育士はどの年齢の子どもにも常に穏やかな雰囲気です。接し、急かしたり、不必要に禁止用語を使ったりすることがありません。また、折に触れ、保育士は子どもたちがどうしたいか、自分で考えるように問いかけ、子どもの気持ちを優先させています。子どもたちは安心して自分の思いを出すことができ、相手の気持ちを思いやることもできるので、友だちとも仲良く園生活を楽しんでいます。</p> <p>◆ゆとりのある保育環境の中で、職員は連携して保育にあたっています。</p> <p>園は子育てをしながら働く職員への配慮として、フリー保育士の人数の確保をし、二人の主任や看護師を配置しています。残業がほぼなく、急な休みも取りやすい、など働きやすい環境作りを努めているため、どの保育士も安心して働くことができます。そのため定職率も高く、保育士同士がどんなことでも話せ、協力しあえる環境にあり、日々の保育の連携やクラス運営、園行事の準備などがスムーズにおこなえています。職員のゆとりが子どもたちの接し方に良い影響となっています。</p> <p>◇改善を求められる点</p> <p>◆保育理念・保育方針に基づいた中・長期計画の策定やマニュアル・文書の整備が期待されます</p> <p>どのような保育園にしていくのか、中・長期計画を策定することが望まれます。保育の実践方法について具体的に文書化したり、各種マニュアルを整備することが期待されます。同じ方向性を持って職員全員が保育できるように、保育理念や保育方針について機会あるごとに職員で話し合い、自分だけでなく園全体の日々の保育を振り返り、園の一員として個々が保育の改善や専門性の向上に努めることが期待されます。</p> <p>◆計画的な人材育成に取り組むことが期待されます。</p> <p>職員にキャリアパスについて説明し、人事考課を取り入れていますが、次世代の幹部をになう主任クラスを計画的に育成する仕組みがありません。また、職員一人ひとりの育成に向けた目標を設定し、育成をはかっていく仕組みがありません。今後は保育理念・保育方針に基づき、期待する職員像を明文化し、また人事基準を明確にして、職員の資質向上の意欲ややりがいを引き出す取り組みが望まれます。</p>

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

<p>当園は、開園して4年弱（令和2年3月現在）となり、手探りの状態からようやく形ができつつある現状です。その中で今回、機関による第三者評価を受審し、改めて園の「強み」と「課題」を視覚的に捉えることができました。</p>
--

上記の総評に記されている通り、保育士不足の現代の中で比較的職員を配置することができ、職員同士がよく話し協力し合い、温かい保育を心掛けているという点は、職員にとっても大きな自信につながります。一方、「しくみ」や「決まりごと」「育成」の面においてはまだまだ整備がされていないという分析は、今後、長期的に園を運営していく上での指標となり、運営法人、園長主任、保育士やその他職員一丸でしっかりと取り組むべき課題です。

これからも、温かな地域柄にフィットした、家庭や地域から愛され、選ばれる保育園づくりに取り組んでいきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり